同じ色が暖色光・昼光・LEDで違って見える理由

店内でぴったりに見えたペンキのサンプルが、家の壁では全然違って見える。その答えは光源にあります。

著者: Lubor Šimůnek • 公開日: September 2, 2026 • デザイン

オンライン版: https://appstoryo.com/ja/blog/same-color-different-light-sources



光が変われば色も変わる

ホームセンターの蛍光灯の下で選んだ壁色が、自宅に帰ると全く違って見える。これは知覚の誤りではなく、物理現象です。異なる光源は、色と根本的に異なる方法で相互作用します。

メタメリズム：二つの色が一致して見える現象

メタメリズムとは、ある光源の下では同じに見える二つの色が、別の光源の下では明らかに違って見える現象です。色はオブジェクトの固定的な性質ではなく、表面で反射した光が目に届いた結果です。光を変えれば、知覚される色も変わります。

色温度：光の数字

光源は色温度（ケルビン=K）で表されます：

- **2700K〜3000K：** キャンドル、白熱灯、電球色LED。すべてが金色がかって見え、白がクリーム色に見えます。
- **4000K（中性白色）：** キッチンやオフィスに多い。色が比較的自然に見えます。
- **5500K〜6500K（昼光）：** 写真・印刷・色の正確な評価の基準標準。
- **スペクトルにピークのあるLED：** 多くのLEDは均一なスペクトルを放射しないため、特定の顔料が歪んで見えることがあります。

カメラにも影響する理由

スマートフォンのオートホワイトバランスは、シーンの色温度を推定して補正しようとします。だからColor Picker Camera: HEX RGBはカメラが実際に見ている色を取得します。暖色光の下ではHEX値にその暖かさが反映されます——これはあなたの実際の環境における正確な色情報です。

実践的なアドバイス

壁の塗料を選ぶ際は、必ずサンプルを持ち帰り、実際の照明下で確認してください。印刷デザインでは、蛍光灯の下で印刷するとスクリーンのRGBカラーがずれることがあります。ファッションでは、自然光で合わせた組み合わせが暖色の照明下では合わなく見えることがあります。

CRIとは何か

演色評価数（CRI）は、光源が自然光と比べてどれだけ正確に色を再現するかを示します。CRI95以上が色の正確な評価に理想的です。安価なLEDの多くはCRI80以下です。

正確な色サンプリングのヒント

- 最終的に使用される照明環境でサンプリングする。
- デジタル基準には昼光（5500K～6500K）をニュートラルベースとして使う。
- Color Picker Camera: HEX RGBを使って表面からHEX・RGB・HSL値を直接取得し、各サンプルの照明条件をメモする。

Color Picker Camera: HEX RGBはiOS版・Android版とも無料でダウンロードできます。広告なし、トラッキングなし、完全オフラインで動作します。

引用形式: Lubor Šimůnek (2026). 同じ色が暖色光・昼光・*LED*で違って見える理由. AppStoryo, lapnito.cz s.r.o..
https://appstoryo.com/ja/blog/same-color-different-light-sources
© 2026 lapnito.cz s.r.o.